

国際大会団長報告

大会名	WORLD OPEN POWERLIFTING CHAMPIONSHIPS 2021
開催国名	ノルウェー
開催都市名	スタヴァンゲル
大会期間	2021年11月8--13日
団長名(報告者)	阿久津貴史
帯同審判名	なし
大会参加国(地域)数	31
大会参加選手数	205

※必要に応じて行を挿入してください

	参加選手名	階級	種別	性別	カテゴリ	SQ記録	SQ順位	BP記録	BP順位	DL記録	DL順位	To記録	To順位
1	福島友佳子	47.0	EQ	女子	OPEN	180.0	1	125.0	1	167.5	1	472.5	1
2	佐竹優典	66.0	EQ	男子	OPEN	302.5	1	222.0	1	255.0	7	779.5	4
3	鈴木豪	74.0	EQ	男子	OPEN	270.0	7	220.0	3	290.0	5	780.0	6
4	阿久津貴史	105.0	EQ	男子	OPNE	320.0	13	-	-	270.0	16	-	-
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													

※必要に応じて行を挿入してください。挿入する場合はNo24以前に挿入すると数式の再設定不要です。

メダル獲得数集計シート

(自動計算されます)

(数字は半角英数字を使用し、数式破損に注意)

SQ金メダル	2	BP金メダル	2	DL金メダル	1	To金メダル	1
SQ銀メダル	0	BP銀メダル	0	DL銀メダル	0	To銀メダル	0
SQ銅メダル	0	BP銅メダル	1	DL銅メダル	0	To銅メダル	0
SQメダル計	2	BPメダル計	3	DLメダル計	1	Toメダル計	1
大会獲得メダル合計							
7							

【大会の様子】※写真等を貼り付け、大会の様子等を報告してください。(会場、使用器具、天候、運営など今後の派遣に有益な情報となりうるもの)
 会場は室内陸上競技場施設。プラットフォームから観客席が階段状に見える構造。使用器具は新型ELEIKOでしたが、パッドが柔らかいものに変更されておりました。日本に初期に入ったパッドとは明らかに硬さが柔らかくなっておりました。アップ場は充実しており連日練習が可能でした。天候は雨が多く、湿度はヨーロッパならではの非常に乾燥しておりました。意識して水分を取らないと軽量級の選手でもどんどん体重が減ってしまう環境でした。ノルウェーは水道水が飲めるということも利点の一つ。メインホテルは2箇所用意されておりましたが、どちらのホテルも会場は徒歩圏。ホテルの食環境、住環境もよく試合をするにあたって非常に良い地域でした。ノルウェーは国際大会を頻りに開催していることもあり運営も非常にスムーズでした。日本選手団は成績もしっかり残すことができ3名がワールドゲームズ出場権を獲得致しました。

